

Anaplan

モデル容量の考え方

Aug 2022

免責事項

本資料は当社の一般的な製品の内容を概説することを目的としています。

参考情報であり、掲載されている情報は予告なしに変更されることがあります。

情報提供を目的としており、いかなる契約にも組み込む事はできません。

資料、コード、機能を提供することを約束するものではなく、意思決定を下す際に依存するものではありません。

Anaplan社は本資料の内容についていかなる保証も致しません。

また、本資料の内容に関するいかなる損害についても責任を負いかねます。

Anaplanの製品について説明されている機能または機能の開発、リリース、およびそのタイミングはAnaplan社独自の裁量に委ねられます。

本資料とAnaplan社の正式発表に内容が異なる場合は正式発表の内容が優先されます。

Excelで考えるAnaplan容量計算

Anaplanではセルの数が容量に大きく影響します。時間軸や製品マスタなどの軸の数、およびそれぞれの軸のデータ件数でセル数が決定します。Excelを例に考えていきましょう。

例: 年次の販売計画を各製品(製品数=500)別に計画値、見込、実績の3つの粒度で保持するExcelの場合

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1		販売計画表(上期計画)								
2										
3			2020年4月			2020年5月			2020年6月	
4		② 製品番号	③ 4月計画値	見込	実績	4月計画値	見込	実績	4月計画値	見込
5		AAA 00A001	238	233		211	232			293
6		AAA 00A002	223	251		245	282			263
7		AAA 00A003	205	293		275	287			252
8		AAA 00A004	268	245		250	230			273
9		AAA 00A005	243	295		229	212			300
10		AAA 00A006	255	186		210	211			255
11		AAA 00A007	274	191		270	268			273
12		AAA 00A008	292	206		270	233			217
13		AAA 00A009	252	308		267	309			249
14		AAA 00A010	295	257		266	286			288
15		BAA200A001 01	231	213		295	199			246
16		BAA200A001 02	232	222		279	267			294
17		BAA200A001 03	242	205		259	291			261
18		BAA200A001 04	201	217		261	204			227

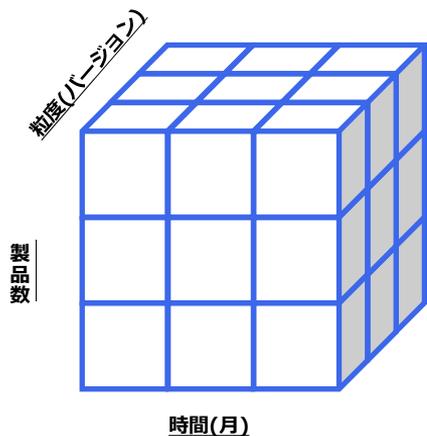
容量

		数
①	時間	12ヶ月
		×
②	製品数	500製品
		×
③	粒度(バージョン)	3 (計画値、見込、実績)
セルの数(①~③ 組み合わせ数)		18,000セル

Anaplanの容量計算

前頁でセル数の考え方がわかりました。導き出されたセル数に、1セルに対する容量(byte数)を掛け合わせることで容量が決定します。1セルに対する容量はFormat(1セルに対する容量)により異なります。※List memberは1memberにつき500byteを消費します

1 セルの数



2 データ別容量

データ種類	容量(byte)
Number	8
Boolean	1
Date	4
Time Period	4
List	4
Text	8
No Data	0

Excelの例をAnaplan容量換算した場合、...

1 セルの数

18,000セル



2 データ別容量

8byte



3 GB換算

2³⁰

3 GB換算

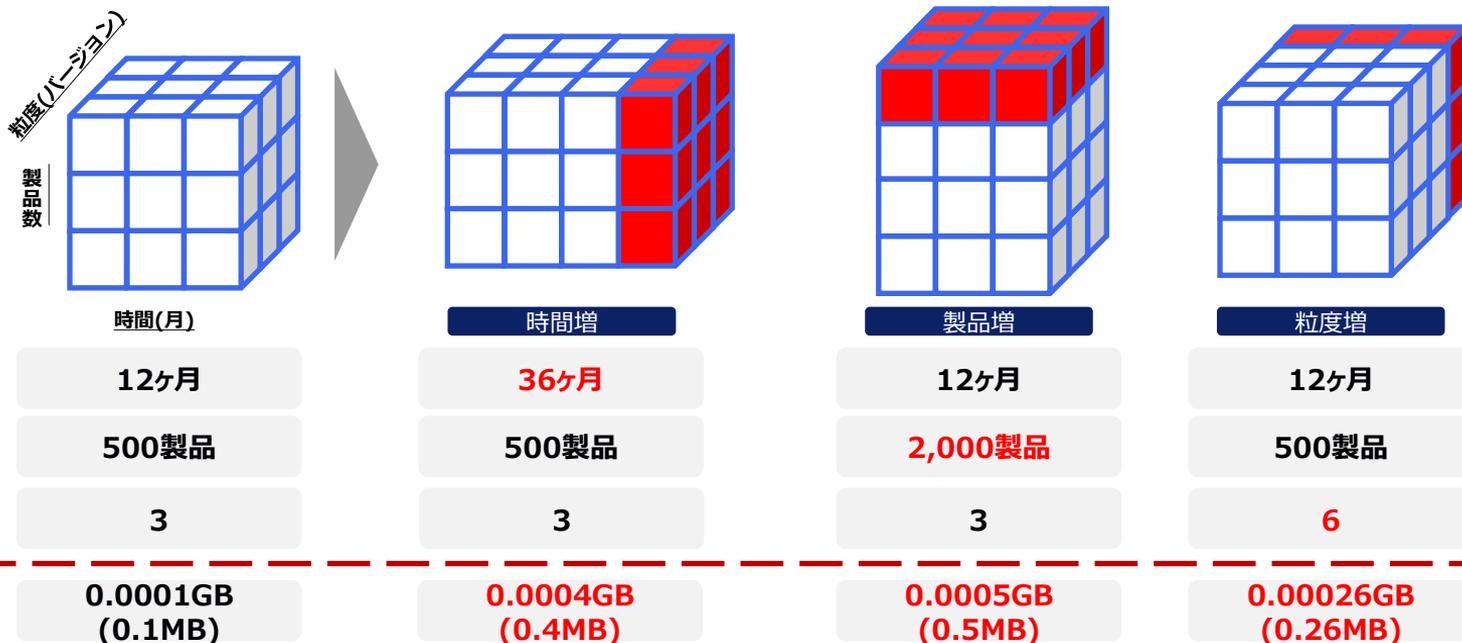
2³⁰*1

*1: 1GBは2³⁰byte

0.0001GB
(0.1MB)

容量増加の例

Anaplanでは軸となるマスタの組み合わせ（セル数）にて容量が決定することは前述の通りです。そのため、マスタ件数が増加するとそれに応じてセル数、容量の増加に繋がります。



容量概算の計算方法

[容量](GB) = [Cellの数] * [Format別のByte] / 2³⁰ (※1GB = 2³⁰ Byte)

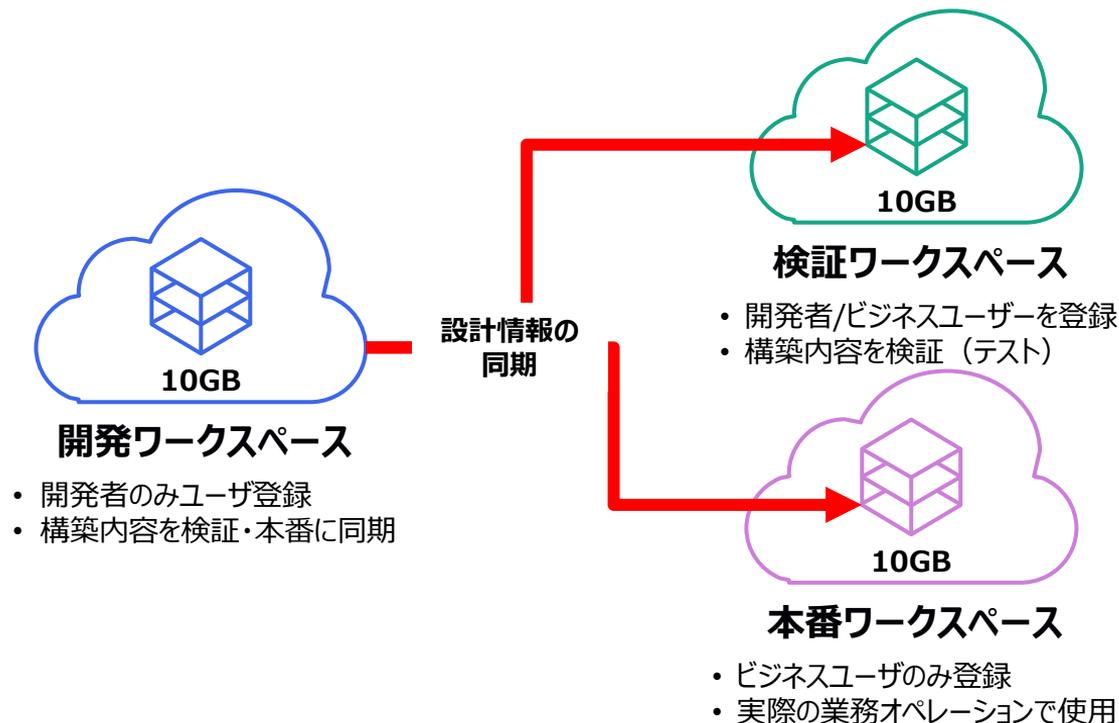
[Cellの数] = List Aのアイテム数 * List Bのアイテム数 * List Cのアイテム数 ...

[Format別のByte]は以下の表のとおりです。

	Parent	Code	Data Type	Byte
Number	All		NUMBER	8
Boolean	All		BOOLEAN	1
Date	All		DATE	4
Time Period	All		TIME_ENTITY	8
List	All		"ENTITY"	4
Text	All		TEXT	8
No Data	All		NONE	0
All				

ワークスペース構成の例と容量

Anaplanでは、開発-検証-本番の3ランドスケープの構成を推奨しています。従い、本番のモデルで10GBの容量試算となると、開発-検証-本番それぞれに容量が必要となり、約30GB(3倍)※の容量が必要となります。



※開発モデルには単体テストが可能なレベルのデータ量を保持し、検証モデルには本番と同程度のデータ量を保持し検証することが一般的です。したがって厳密には3倍を少し下回る容量となります。

容量計算に含まれないもの

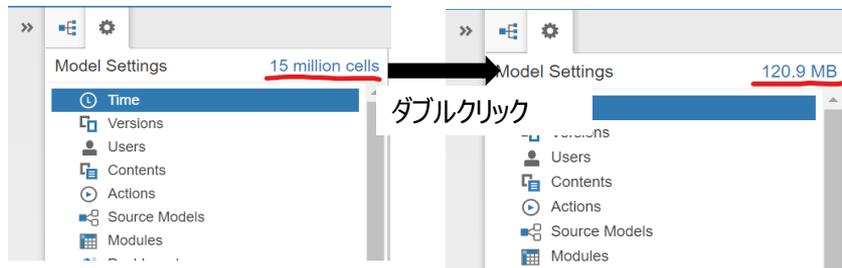
- 計算時にメモリ上に展開されているものが容量に含まれるので、以下のようなものは容量計算対象外です。
- エンドユーザー向けUI - Apps、Page、My Page、Dashboard、Personal Dashboard
- モジュールのSaved View
- Action
- Import Data Source

使用している容量の確認方法 – モデル

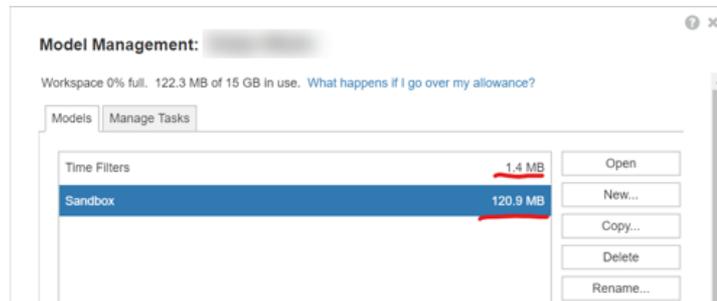
Workspace Adminは以下の方法で容量を確認できます。

1. Model Settingsで確認

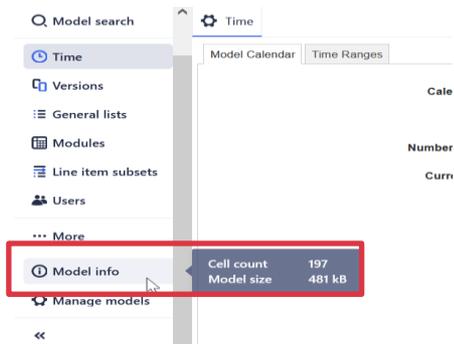
旧Modeling Experienceの場合



2. Manage Modelで確認



新Modeling Experienceの場合



使用している容量の確認方法 – ワークスペース

Tenant Adminは、Administration>Workspacesから容量を確認できます。

The screenshot illustrates the navigation path from the Anaplan Administration console to the Workspaces page. On the left, a navigation menu is shown with 'Administration' highlighted. A blue arrow points from this menu to the main interface. The main interface shows the 'Administration' sidebar with 'Workspaces' selected. The 'Workspaces' page displays a table of workspace usage.

Name	Active	Usage (GB)
Public App	✓	0 of 30
Public App Custom Service	✓	0.7 of 20
Public App Data	✓	28.9 of 30
Public App Events	✓	13.3 of 50
Public App Profiles	✓	17.5 of 20
Public App Reporting	✓	41 of 10
Customer Service App Training	✓	0.2 of 10
App Hub	✓	01 of 15
Internal App	✓	5 of 10

使用している容量の確認方法 – Module/Line Item

モジュール、ラインアイテムの画面からCell Countを取得できます。一覧をダウンロードして、1セル8byte換算で試算することで、各モジュール、ラインアイテムのおおよその容量内訳が算出できます。

Modules	Functional Areas	Line Items	Style	Cell Count
--- Budget ---	Not Applicable	New Line Items: Off	Show All Users: On	0
D_案件別予算	Not Applicable	New Line Items: Off	Show All Users: On	88,992
D_案件別属性	Not Applicable	New Line Items: Off	Show All Users: On	49,080
--- Forecast ---	Not Applicable	New Line Items: Off	Show All Users: On	0
I_案件別見込入力	Not Applicable	New Line Items: Off	Show All Users: On	6,407,424
I_案件別差異理由入力	Not Applicable	New Line Items: Off	Show All Users: On	13,088
S_FTR_Select by User	Not Applicable	New Line Items: Off	Show All Users: On	778,736
S_FTR_案件/見込Version	Not Applicable	New Line Items: Off	Show All Users: On	85
S_課別ステータス入力	Not Applicable	New Line Items: Off	Show All Users: On	194
S_課別ステータス管理	Not Applicable	New Line Items: Off	Show All Users: On	24
S_部門別ステータス入力	Not Applicable	New Line Items: Off	Show All Users: On	48
S_部門別ステータス管理	Not Applicable	New Line Items: Off	Show All Users: On	48



Modules	Functional Areas	Line Items	Style	Cell Count
--- Budget ---				0
D_案件別予算				88,992
D_案件別属性				49,080
--- Forecast ---				0
I_案件別見込入力				6,407,424
I_案件別差異理由入力				13,088
S_FTR_Select by User				778,736
S_FTR_案件/見込Version				85
S_課別ステータス入力				194
S_課別ステータス管理				24
S_部門別ステータス入力				48
S_部門別ステータス管理				48

	A	H	I	J	K
		Users List	Cell Count	MG	GB
--- Budget ---		Show All Users: On	0	0.0000000	0.0000000
D_案件別予算		Show All Users: On	88,992	0.6789551	0.0006630
D_案件別属性		Show All Users: On	49,080	0.3744507	0.0003657
--- Forecast ---		Show All Users: On	0	0.0000000	0.0000000
I_案件別見込入力		Show All Users: On	6,407,424	48.8847656	0.0477390
I_案件別差異理由入力		Show All Users: On	13,088	0.0998535	0.0000975
S_FTR_Select by User		Show All Users: On	27	0.0002060	0.0000002
S_FTR_案件/見込Version		Show All Users: On	778,736	5.9412842	0.0058020
S_課別ステータス入力		Show All Users: On	85	0.0006485	0.0000006
S_課別ステータス管理		Show All Users: On	194	0.0014801	0.0000014
S_部門別ステータス入力		Show All Users: On	24	0.0001831	0.0000002
S_部門別ステータス管理		Show All Users: On	48	0.0003662	0.0000004
S_FTR_見込Version_Select		Show All Users: On	3	0.0000229	0.0000000
S_FTR_見込Version		Show All Users: On	12	0.0000916	0.0000001
S_DCA_見込Version/Time/課		Show All Users: On	15,552	0.1186523	0.0001159

ある程度開発が進んだ後の分析やチューニングは、このようにセルカウントの大きい順に見ていき、容量の最適化の余地がないか検討を進める

よくある質問(1/2)

Q. 経年変化による容量増加はあるか？

Anaplanでは、実行系システムと異なり過去データを全て保持するような使い方は稀です。「過去・未来何年分のデータを保持するか？」を設計要件として決め、その年数に比例した領域を容量として確保するのが通常です。従って、稀な使い方をしなければ経年による容量増加はありません。

Q. 画面(モジュールのSaved ViewやPageなどのエンドユーザー画面) 追加による容量の増加はあるか？

モジュールのSaved Viewおよびエンドユーザー画面のPageについてはサーバー上のメモリを消費しないので、容量消化の対象外です。

Q. 機能追加による容量増加はあるか？

機能追加によって、入力/計算/出力などが追加される場合(モジュールが追加される場合)、容量は増加します。

Q. バックアップ取得による容量増加はあるか？

Anaplan社がDR(Disaster Recovery)として用意しているバックアップは容量計算の対象外です。ただし、お客様内でバックアップとしてModelをコピーし保持しますと、容量は単純に考えますと2つ分(2倍)となります。*アーカイブされたモデルは容量計算の対象外です。

よくある質問(2/2)

Q. マスタデータの追加による容量増加はあるか？

前述の容量増加の例をご参照ください。

Q. アーカイブしたモデルは容量消費対象か？

アーカイブとは、モデルをメモリ領域から解放することを指します。したがって、アーカイブされたモデルは容量消費対象外です。アーカイブから戻すことで、アーカイブ前と同じ状態で再度メモリ上に展開することができます。(=再度容量消費されます)

Q. Indexによる容量増加

Indexを意識する必要はありませんので、容量計算の対象外です。

Thank you!